

科目名	基礎数学 I Fundamental Mathematics I			担当教員	佐藤 文敏 新任教員		
学 年	1年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	12120004	単位区分	履修単位
学習目標	この教科では、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整式を中心とする数と式の基本的な理論 ・ 2次方程式を中心とする方程式や不等式の理論 ・ 関数の概念と、2次関数を中心とする初等的な関数のグラフとその応用 ・ 直線と円を中心に、座標による図形と式の関係とその応用 などを学習する。						
進め方	授業は基本的に教科書に添って行う。適宜小テスト、レポートなどを課す。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 数と式(21) (1) 整式 (2) 実数 (3) 1次不等式			<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の四則(加減乗除), 展開, 基本的な因数分解を理解し, 計算と基本的な応用ができる。 ・ 基本的な方程式, 不等式が解ける 			
	[前期中間試験](2)			学習・教育目標:(B-1)			
	試験返却(1) 2. ベクトル(5) 3. 2次関数(28) (1) 2次関数とそのグラフ			<ul style="list-style-type: none"> ・ 平面ベクトルの概念と演算(和, スカラー倍)を理解する。 ・ 2次関数のグラフを描くことができ, その基本的な応用ができる。 			
	前期末試験			学習・教育目標:(B-1)			
	試験返却(1) 5. 2次関数(続き) (2) グラフと方程式・不等式 6. 図形と方程式(30) (1) 点と直線 (2) 円			<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフと方程式・不等式の関係性を理解する。 ・ 座標平面において, 点, 直線, 円, 領域などの基本的な取り扱いができる。 			
	[後期中間試験](2)			学習・教育目標:(B-1)			
	試験返却(1) 7. 図形と方程式(続き) (3) 円(続き) (4) 軌跡と領域			<ul style="list-style-type: none"> ・ 円と直線の位置関係・不等式の表す領域が分かる。 			
後期末試験 試験返却(1)			学習・教育目標:(B-1)				
評価方法	定期試験はそれまでの講義内容、問題集・参考書より出題する。試験の成績を80%、これに平常点(レポート・小テストなど)を20%加え100%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎数学 I (1年) → 微分積分 I, 基礎数学 III (2年)						
教 材	教科書:「新版 数学 I, II」(実教出版) 問題集:「アクセスノート I+A, II」(実教出版) 参考書:「改訂版 チャート式基礎と演習 数学 I+A, II+B」(数研出版)						
備 考							